

# 令和3年度 第1回政策推進会議報告

日 時 4月20日 9時30分～10時10分

場 所 WEB会議室

出席者 19人

## 1 重点課題事項の設定と勤務実績評価について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 分類Ⅰの団体については施策評価を一体的に行う外郭団体と位置づけたい。その他の団体も、分類Ⅰが相応しいのではないかとという団体もあるかもしれないし、将来的に位置づけが変わることも想定している。施策評価の際などに各局で議論できたらいいが、現時点で意見はあるか。
- ・(総合政策局長) 現時点の分類ということで、今は具体的に想定できないが、社会情勢の変化や法改正、制度創設、制度改正等がある中で、分類については柔軟に変更できるという理解でよいか。
- ・(市長) 当然そのように考えている。議会への対応として、外郭団体への職員派遣や人件費補助の考え方を一定整理したが、本来は団体の性格や市との関係性に応じて、市が団体に対して行うマネジメントの度合いが異なってくる。分類を見直すにあたっては、一定の基準をもとにした合理的な説明が必要となり、今回作成した指標をもとに、施策の推進状況も踏まえながら説明できる形で変更する。意見があったように、法改正等がきっかけとなって変更する場合もあれば、社会情勢の変化の中で、これ以上市から委託する事業がないとか、補助すべき要因が薄くなっているといったことがあれば、市と団体の関係性が変わってきているという、一つのメルクマールになると思っている。運用していく中で分類が合わないとなれば柔軟に検討していくことになるが、この指標は、政策的パートナーとしての重要性と、客観的に説明できる要件・条件を勘案して作成したもの。よって、まだ本来目指すべき姿に到達していないポジションに分類されている団体もあり、目指すべき姿自体が時代の中で変化していくこともあり得ると思っている。今後施策評価が始まっていくが、その段階ですでに違和感があれば、また各局から意見を挙げてほしい。分類Ⅰについては、施策評価の場で原則、団体の関係者に同席いただくとともに、重点課題事項の設定と勤務実績評価を行うにあたって、分類Ⅰの団体については日々のマネジメントを意識して行ってもらいたい。

## 2 令和3年度版「はたらきガイド」について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 今年度は大幅な改定がなされていない。部長級のコンピテンシーを課長級と分けていくにあたっては、各局からも意見を挙げられるよう調整部会等を開催し、必要に応じて変更していく。

### 3 その他

- 総合政策局長から、武庫東・武庫西生涯学習プラザの愛称決定について説明。(以下、質疑等)
  - ・(市長) 素敵な愛称がついた。中央の梅プラザとサンシビック、武庫のおひさまプラザとゆうやけプラザに続き、他の地区でもまた愛称がついていくといい。
- 資産統括局から、令和3年度の4月補正予算の専決処分の概要について説明。
- 危機管理安全局から、緊急事態宣言および台風2号について説明。(以下、質疑等)
  - ・(市長) 新型コロナ対策に関しては保健所や衛生研究所も体制が非常に厳しくなっているので応援が必要であれば局の枠を越えて対応していきたい。繰り返しとなるが、職員の感染事例も増えている。最近では変異株が多くを占めているということで、やはり免疫ができていないのか、非常に感染力が強いと言える。同居する家族も高い確率で感染するようなので、家族経路で感染しているケースもあると思うが、やはり職場でクラスターを起こさないことが非常に大事なので、濃厚接触に当たらない職場環境を整えながら仕事をするを改めて強く意識する必要がある。もちろん、保育の現場など対策が難しい現場はあるが、引き続き配慮し、業務時間中だけでなく休憩時間に話をする際などでも濃厚接触になっていないか、マスク着用など基本をしっかり守り、私たちがコロナ対策をしっかり支えていくという自覚を持って頑張っていきたい。

以上